

魚津市定例記者会見 7月

日時：平成26年7月1日（火） 午後1時30分～

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、中日新聞社、読売新聞社、朝日新聞社、NHK、富山テレビ、NICE TV、ラジオミュー

市当局出席者：市長、副市長、教育長、企画総務部長、産業建設部長、民生部長、企画政策課長

1. 市長からの説明事項

(1) 梅雨の天候

梅雨の時期に入り、6月29日（日）には魚津市でも大雨・洪水警報が出されたが大きな被害報告もなくほっとしている。太平洋側では大雨や雹（ヒョウ）による災害もあるので梅雨明けまでは予断を許さないと思っている。

(2) 東洋経済「住みよさランキング」

毎年全国800余りの市・区を対象に住みよさランキングが発表されており、今年も6月半ばに公表された。魚津市は総合ランキングで昨年20位だったのが今年は15位になった。評価が高かった項目は、医療や介護の充実度を示す安心度や、市民一人当たりの小売店舗面積で表される利便度で、郊外に出店している大型小売店舗の影響かと思う。目に留まった項目は民力で、市民力と解釈しているがこれが65位だった。5月に行われたよっしゃ来い蝶六まつりのように市民でつくる祭りであったり地域振興活動がポイントになっているとすれば、市の目指す姿としてよいことである。

(3) 千葉ロッテマリーンズ石川歩投手後援会

6月29日（日）に登板し、8回まで無失点に抑える好投で約1か月ぶりに勝利投手となり5勝目をあげた。市民の要望もあり、市と体育協会の関係者が中心となって後援会立ち上げの準備をしている。滑川高校の卒業生でもあるので、滑川市の野球関係者にも声をかけながら進めてまいりたい。

2. 質疑応答での市からの説明内容

「魚津市公共施設再編方針の策定について」

《記者からの質問》

素案からの変更はないということだが、今後どのように進めていくのか？いつまでという時期はあるのか？

《回答》

大まかな方針を示したもののなので、個々の施設については今後実施計画で具体化していく。住民の皆さんや関係団体にも周知をしながら進めていくことになるかと思う。目標年度で平成30年度までに再編方針の施設については、早急にとりかかる必要がある。

《記者からの質問》

(進捗状況の) 中間報告などはしないのか？

《回答》

(施設再編の) 進行管理は各施設の担当課が行い、中間報告は議会などへ行うことになるかと思う。

「長勢甚遠氏の名誉市民推挙について」

《質問》

長勢氏と魚津市との関わり、また名誉市民に推挙された理由は？

《回答》

長勢氏は魚津市石垣に生まれ、現在も(石垣地内に)生家がある。小学校入学時に父親の仕事の関係で富山市在住となったが、当時も祖父母の住む魚津市へよく帰っていたと聞いている。衆議院議員選挙に初めて立候補された時は、魚津を地盤として出馬された。のちに小選挙区制となり、富山市の選挙区へ移られたこともあり現在は富山市内に居を構えておられる。

衆議院議員として活躍され、ふるさと魚津のためにご尽力いただいた。法務大臣、内閣官房副長官を歴任され、去年は旭日大綬章を受章されたことも魚津市民にとって大変名誉なこと。(名誉市民の)推薦委員会が開かれ、各団体の代表者が全会一致で推薦となった次第である。

「富山大との地域連携包括協定に伴う市立博物館の利用促進について」

《質問》

富山大の教員が魚津市内の博物館を無料で利用できることと、市民生活との関連は？

《回答》

大学と博物館との連携、具体的には入館料を無料にしてさらに利用してもらうことで将来的には(大学の研究成果などを)地域へ還元されること期待するものである。

「集団的自衛権行使容認に関して」

《質問》

本日、集団的自衛権行使容認についての憲法解釈が閣議決定される見込みだが、これについての考えは？

《回答》

憲法改正はとてもハードルが高いが、それにしてももっと議論を深めるかあるいは憲法改正という視点で議論すべきではなかったかと。解釈だけで（行使容認）は国民の理解を得るには説明不足の感がある。